



▲朝日小学校2年生と只見町昔ばなしの会の皆さんが「昔ばなし」を披露した民話茶屋

いにしえ

「古を結び、未来をつなげよう」学び続ける只見町

第48回 只見町文化祭

— 第48回只見町文化祭 —

11月3日、只見振興センターにおいて「第48回只見町文化祭」が盛大に開催され、延べ1,700余名が来館しました。

開館式では、町主催の「わたしの自慢のごはんコンテスト」の表彰式が行われ、町内の小学生の入賞者15名のうち11名の方が出席し、菅家町長などから賞状と記念品を受け取りました。最優秀賞には、明和小3年の酒井優さん、只見小6年の五十嵐零生さん、只見中3年の小野佑月さんが選ばれました。

— 多彩な取り組みを

紹介した各コーナー —

今年の文化祭は、「古を結び、未来をつなげよう」学び続ける只見町をテーマに、メインコーナーでは国道289号八十里越の工事進捗状況や歴史の道「八十里越」古道調査の状況などを展示しました。さらに民具収蔵庫の建設に向けた設計内容などの展示や「会津ヨシ！」のJR只見線ジオラマ展なども設けられ、同コーナーでは、埼玉県熊谷市在



▲「わたしの自慢のごはんコンテスト」入賞者の皆さん



▲オープニングライブで2曲を披露した大竹涼華さん



▲約 400 点の作品が展示された会場



▲子どもたちに大人気だった「会津ヨシ！」の只見線コーナー



▲10 団体の出店が並んだ物産展



▲喜楽会や只見高校茶華道部による茶道コーナー



▲多くの来場者で賑わった手工芸や民芸品などの体験コーナー、チャリティバザー、只見高校PRコーナー



▲八十里越関係や民具収蔵庫関係が展示されたメインコーナー

住で、只見線の歌を作詞作曲する栗田喜弘さんのライブも行われました。

会場内では絵画、書、俳句、短歌、写真などの作品展示や只見高校のPRコーナーなども設けられ、ハーバリウム体験やつる細工体験、陶芸体験、さらに「昔ばなし民話茶屋」コーナーなども人気を集めました。別会場の町下野球場では野球教室が行われ、多くの子どもたちが指導を受けていました。



▲宮城県東北高校で甲子園に出場、現在は指導者として活躍される福田正文さんの「野球教室」



▲千葉県柏市から来町された永楽台地域の皆さん